

事例
8経営情報の一元管理システムの導入による
業務効率化とサービス改善

- 【所在地】 愛媛県 【従業員数】 5～9人
【事業の種類】 物品賃貸業・建設機械器具賃貸業
【課題と対応】 顧客へのスピーディーな対応が課題であるため、他の業務の削減や人員の再配置を検討してきた。

旧来のシステムは売上管理のみで、仕入、商品、原価等の管理は別々のシステムで行っていたことから、管理にかかる労力と作業ミスが発生していました。そこで、助成金を活用して各経営情報を一元管理するシステムを導入しました。

管理業務の時間短縮と作業ミスを軽減するために、
経営情報を一元管理できるシステムを導入したい



社長



社長と役員のみならず、各部署リーダー参加型で会議を行い、生産性やサービスの向上を議題とした話し合いを毎月行っている。

- 複数人で作業した結果を持ち寄って手動で計算していた業務が、従業員1人が入力作業をするだけで完結するようになり、他の従業員は顧客対応に専念できるようになった。
- 経営情報の管理にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、2人の従業員の時間給（最低賃金）を50円引き上げた。

助成金活用のポイント

各経営情報を一元管理するシステムを導入したことで、
管理業務の効率化と顧客サービスの強化につながった。